

307) ドライブ

小生は結構ドライブが好きなのですが、運転にはどちらかというとイライラする方で、そのストレスの解消法として、ブツブツと独言を言うのであります。「アノ馬鹿、あんな曲がり方しやがって!」とか、「このヘタッピーが!」とか、「バッカ野郎ウインカー位ちゃんと出せ!」とか、「アホッタレ、もう一度教習所行って来い!」とか。まあ悪態の限りを尽くすと、不思議なことに気分がスウ~として、イライラが納まるのであります。先日はすっかり春めいてきたので窓を少し開けてドライブを楽しんでいたのですが、右折レーンの3台目ぐらいで待っていると、先頭の車もたもたして、結局1台しか右折できなかつたので、「この馬鹿が、ちゃんと信号見てろってんだ~。バッカヤロウ~が!」と、結構大きな声で怒鳴り散らしていたのであります。ところがこれが窓が開いてるもんですから、道行く人が何事かと思って、みんな一斉に我輩のほうを見ているではありませんか。イヤ~、恥ずかしいのなんのって、次の信号に変わるまで、ずっと下を向いて隠れるようにしていたのであります。ホンに全てにおいて、口は禍のもとなのであります。